第2530地区
2026－27年度
浪江ロータリークラブ
第2630回例会
会長の時間



2026年7月2日（火）

林　富士雄

浪江ロータリークラブ 会長　冒頭挨拶

　皆様こんにちは。今年度、浪江ロータリークラブ 会長を拝命致しました林 富士雄であります。一年間宜しくお願い致します。

本日はパストガバナー大橋ひろじ様、そして友好クラブであります越谷北RC 会長 市川ひろかず様をはじめとする４名の皆様に遠方よりお越し頂きご臨席を賜りました。心より御礼申し上げます。

昨年度、泉田ガバナーを輩出し、三大セミナー、地区大会を主管する事により、クラブとして大きく成長する機会を頂きました。

今年度はこの経験を活かし、より一層クラブを活性化させていく所存であります。

国際ロータリー第2530地区
2026－27年度地区運営方針

国際ロータリー　オラインカ・ハキーム・ババロラ会長メッセージ
「CREATE LASTING IMPACT」「持続可能なインパクトを生み出そう」

【メッセージ要約】

　ロータリーの真の価値は、世界や地域社会への奉仕だけでなく、会員一人ひとりの内面に生まれる持続可能な変化にあります。ロータリーは人を孤独から救い、価値観や生き方を変え、人生の困難な時にも支えとなるコミュニティなのです。

真の「インパクト」とは、一時的な成果ではなく、世代を超えて続く変化であり、教育や保健、平和、会員増強などの活動を通じて実現されます。そのためには、寄付にとどまらず、地域と共に考え行動し、包摂的に人を迎え入れる姿勢が不可欠なのです。ロータリーの成長は、他クラブとの競争ではなく、過去の自分たちを超える挑戦から生まれます。

ガバナー方針

国際ロータリー会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏のメッセージを受け、第 2530 地区 2026-27 年度の地区運営のキーワードを

「連携と連帯で持続可能なインパクトを生み出そう」

とします。

「連携」とは、互いの持てる能力を補い合い、手を携えることです。
「連帯」とは、共通の志のもとに強い絆で結ばれることです。

この二つが組み合わされたとき、私たちのロータリーはより強固なものとなり、実践する奉仕活動は単なる「結果」にとどまらず、地域社会に根付く大きな「力」となって、持続可能なインパクトを生み出すことができます。

浪江ロータリークラブ　2026-27年度理事会構成

役員		会　長	林　富士雄
		直前会長	吉田　　学
		副会長	重富　秀一
		副会長	伊藤　公明
		会長エレクト/幹事	永橋　律子
		幹　事	吉田　知成
		会場監督(SAA)	小黒　敬三
		会　計	中西總一郎
理事	1	理事/幹事エレクト	朝田　英洋
	2	理事/副幹事	増子　義夫
	3	理　事	小丸　真司
	4	理　事	叶　　経道
	5	理　事	吉田　政輝
	6	理　事	泉田　征慶
	7	理　事	金澤　文隆
	8	理　事	松原　　茂
	9	理　事	松本　敬三
	10	理　事	八島　貞之
	11	理　事	横山　秀明
	12	理　事	岩野　晶子

本クラブの管理主体は本クラブの役員（会長、直前会長、会長エレクト、副会長、幹事
会計、会場監督）および理事（12名以内）より成る理事会とする。

2026-27年度 浪江ロータリークラブ組織図（案）

理事会

役員		役員補佐	
会長	林 富士雄	直前会長	吉田　学
副会長	重富 秀一	幹事エレクト	朝田 英洋
副会長	伊藤 公明	副幹事	増子 義夫
幹事	吉田 知成		
会長エレクト	永橋 律子		
会場監督 SAA	小黒 敬三		
副 〃 SAA	朝田 英洋		
会計	中西 總一郎		

地区出向者	
泉田 征慶	増子 義夫
重富 秀一	小黒 敬三
伊藤 公明	伊藤 正人
叶　経道	

戦略・研修委員会	
◎重富 秀一	○伊藤 公明
泉田 征慶	吉田　学
八島 貞之	林 富士雄
吉田 知成	永橋 律子
朝田 英洋	

パスト会長会会長	小黒 敬三
クラブ研修リーダー	泉田 征慶
会計監査委員長	岩本 清孝
会計監査副委員長	吉田 俊哉
事　務　局	（伊藤 まり）

クラブ管理運営委員会

◎松本 敬三	○小黒 敬三
・親睦活動	
・スマイルボックス	
・友好クラブ	
松崎 俊憲	三瓶 浩徳
朝田 宗弘	山崎 正典
佐藤 浩宗	
金澤 文隆	

会員増強委員会

◎松本 里美	○吉田浩美
・会員増強	
・会員選考	
・職業分類	
岩本 清孝	新妻 英雄
吉田 俊哉	板倉 孝之
増子 義夫	福田 一治
石田 全史	百川 秀彦
関 和也	

公共イメージ委員会

◎岩野 晶子	○朝田 英洋
・会報・広報・IT	
・環境保全	
叶　経道	松原　茂
永田茂男	遠藤 敬史
吉田 政輝	加藤 健一
岩本 泰典	高内 広樹

奉仕プロジェクト委員会

◎横山 秀明	○坂本 新一
・社会奉仕	
・職業奉仕	
・青少年奉仕	
・国際奉仕	
吉田　学	苗村 茂樹
小黒 敬三	羽山 文人
今井 義人	佐藤 一彦
鈴木 州治	井戸川 永隆
本田 拓野	

ロータリー財団委員会

◎八島 貞之	○伊藤 正人
・米山記念奨学会	
・ロータリー財団	
伊藤 公明	重富 秀一
小丸 真司	中西 總一郎
吉田　学	前司 昭一
吉田 知成	永橋 律子
大城 直也	清水 研司

◎委員長
○副委員長

各委員会活動計画（案）

ＳＡＡ 会場監督

ＳＡＡ　小黒 敬三
副ＳＡＡ　朝田 英洋

【目　　的】
ＲＩ会長の「持続可能なインパクトを生み出そう」のメッセージ、金田　昇ガバナーの「仲間とともにロータリーを愉しもう」を踏まえて、秩序ある例会と会員全員が愉しめる例会を目指して管理、運営をしていきます。

【活 動 計 画】
1.例会・会合時、会場の設営、資料の配付、会場の監督、後片付け、司会進行を行い、スムーズな例会や会合の運営を行う
2.定刻開会、閉会に努める

クラブ管理運営委員会

委 員 長　松本 敬三
副委員長　小黒 敬三
委　　員　松崎 俊憲　三瓶 浩徳　金澤 文隆　廣瀬 康雄　佐藤 浩宗　山崎 正典　朝田 宗弘

【目　　的】

ロータリーの五大奉仕部門の一つであるクラブ奉仕を担う委員会であり、クラブ活動の管理・運営の支援を行う。例会運営の支援、友好クラブとの合同例会、親睦活動等の強化を図る。

【活 動 計 画】

1.例会の運営（会長、幹事のサポート）
2.スマイルボックスの推進、運営・管理
3.友好クラブ関係
- 越谷北ＲＣへのクラブ訪問及び合同例会の企画、運営
- 喜多方ＲＣ、白河ＲＣ、浪江ＲＣの合同例会の企画、運営
- 越谷ＲＣ、二本松ＲＣとの３クラブ合同例会の企画、運営
- 相双分区他クラブでの合同事業の企画、運営（１０月ポリオウイルス撲滅募金活動を予定）
- 新会員の歓迎会を兼ねての懇親会（ゴルフコンペ等）の企画、実施
- 地区研修へ積極的に参加出来る様、各委員会と連携を図り担当会員に参加を促す

戦略・研修委員会

委 員 長　重冨 秀一
副委員長　伊藤 公明
委　　員　泉田 征慶　吉田 学　八島 貞之　林 富士雄　吉田 知成　永橋 律子　朝田 英洋

【目　　的】

１．浪江ロータリークラブの奉仕活動が継続性を保って発展するための戦略を立案し、実践する。
２．本クラブの会員が国際ロータリー（RI)の方針を理解し、RIの方針に沿った奉仕活動を実践するための支援を行う。

【活 動 計 画】

１．RIの「戦略計画立案ガイド」に基づき、本クラブの現状を分析し、中・長期的なビジョンを明確にして具体的な行動計画を作成する。
２．中・長期多岐な行動計画の進捗状況を定期的に評価する。
３．本クラブの会員に対してRI2530地区の委員会が開催するセミナーへの積極的な参加を促す。
４．セミナーに出席した会員にはセミナーの概要を例会で報告するよう要請する。
５．歴代会長ならびに会長、会長エレクト、会長ノミニーとの意見交換を定期的に行い必要に応じて行動計画を見直して、より良い奉仕活動が実践できるよう努める。

会員増強委員会

委 員 長　松本 里美
副委員長　吉田 浩美
委　　員　岩本清孝、吉田俊哉、増子義夫、石田全史、新妻英雄、板倉孝之
　　福田一治、百川秀彦、

【目　　的】

2026-2027ＲＩ会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ氏の「持続可能なインパクトを生み出そう」の下金田ガバナーは地区運営のキーワードを「連携と連帯で持続可能なインパクトを生み出そう」としました。浪江ＲＣのテリトリーは３町１村と広大であり、テリトリー全体にロータリーの魅力を発信し会員拡大を図り、地域社会に根付く大きな「力」となって、３年後、５年後、この地域にどのような恩恵をもたらすかという視点を持ち、持続可能なインパクトを意識する。

【活 動 計 画】

1.「仲間とともにロータリを愉しもう」のメッセージの下、他委員会と連携し、新会員親睦、交流活動を実施する
2.委員長、副委員長の女性の視点からの会員増強を図る
3.会員増強委員研修・セミナー、退会防止セミナーへの参加
4.地区会員増強・ＤＥＬ委員会 委員長をクラブより輩出しており、ノウハウをクラブに還元してもらい活動を活発化していく

公共イメージ委員会

委 員 長　岩野晶子
副委員長　朝田英洋
委　　員　叶 経道　永田 茂男　吉田 政輝　松原茂　岩本 泰典　遠藤 敬志
　　加藤 健一　高内 広樹

【目　　的】

残念ながらロータリー活動は世間に十分に認知されておらず、どんな活動をしているか、知っている人は少ないと言っても過言ではありません。認知度が低い団体の入会率が低いのは当たり前で、時代は日々変化しており、クラブや会員が積極的に且つ時代に即した情報発信をしていかなければなりません。

なぜその活動が必要で、その活動によってどんな人に、どんな良い変化をもたらすのか、ストーリーを伝えることによって人々に共感を与える事が必要です。

【活 動 計 画】

1.例会及び奉仕活動の記録（動画、画像、内容）
2.従来のホームページから浪江RC共有のサーバー、ドメインの新ホームページ作成
3.ホームページ閲覧数の向上に繋がるタイムリーな更新と周知の実施
4.Facebookへの投稿、更新及びメッセージの対応。
5.各種活動の新聞掲載等の依頼
6.MyRotaryへの登録率８０％達成

奉仕プロジェクト委員会

委 員 長　横山 秀明
副委員長　坂本 新一
委　　員　小黒 敬三　苗村 茂樹　羽山 文人　佐藤 一彦　今井 義人　井戸川 永隆　吉田 学　鈴木 州治
　　本田拓野

【目　　的】

地域に於ける奉仕活動を通して、ロータリーの認知度を上げて会員の誇りとなるように事業及び専門職の道徳を高め、自己の職業が社会に役立っていることが実感出来るようにする。
また青少年（インターアクトクラブ）が地域で行う奉仕活動や体験を通して、個々の能力と知識や技術を高めることに、自信と希望を持って社会参加への意識向上を図れる様支援する。
自然災害や国際紛争などに起因する教育的・人道的課題に対して浪江ロータリークラブが組織として効果的な奉仕活動を実施する事で、社会に認められるロータリー、自分達の活動に自信が持てる奉仕プロジェクトを実行し、誰もが入りたくなる魅力的なロータリーを創る事。

【活 動 計 画】

社会奉仕　：海岸清掃・請戸リバーライン桜の手入れと絆さくら会との共同作業、浪江JCの標葉まつりへの協力と相双分区他クラブとの合同事業の企画運営
職業奉仕　：会員企業の視察及び卓話の企画、有力入会企業の視察及びゲスト卓話の企画
青少年奉仕：ふたば未来学園インターアクトクラブの活動支援、RYLAプログラムの協力と参加
国際奉仕　：災害に応じた募金による支援と活動立案のための調査研究と支援

ロータリー財団委員会

委 員 長　八島 貞之

副委員長　伊藤 正人

委　　員　伊藤 公明　重富 秀一　小丸 真司　中西 總一郎　吉田 学　清水 研司　前司 昭一　吉田 知成

【目　　的】

ロータリー財団は「世界で良いことをする」ため、人々の健康状態の改善、教育の支援、貧困救済、平和の促進を実現することにあります。クラブ活動は会員の皆様からのご寄付によって成り立ちます。会員の皆様から寄付の理解を深めて頂き、寄付目標や寄付の働きかけを行います。

また中長期的計画で地区補助金を活用した事業を立案し地域貢献します。

【活 動 計 画】

1.地区補助金の活用を促進し、復興・創生に寄与する。

2.会員のロータリー財団セミナー、補助金管理セミナーへの参加を促進。

3.ロータリー財団委員会事業、米山記念奨学会事業への正しい理解を深めるセミナーの開催

4.ポリオ根絶の為、会員に理解と協力を得るために卓話依頼やイベント参加を促進を促進。

5.米山奨学生では、米山奨学生の受入れ支援を通して、米山奨学生を理解する。

会長より　各委員長、会員へのメッセージ

　クラブ内の各委員長にお願いです。震災前は委員会活動が活発に行われていたそうですが、震災後は会員がバラバラになったということもあり、委員会を開催していないところもございます。1,2か月に1度は委員会を開催（オンライン会議でもよろしい）各委員の帰属意識が醸成されるよう、充実感を得られるロータリーライフを提供して戴きたいと思います。各委員会活動についてはガバナー公式訪問の際各委員長より活動方針を発表して戴きましたので、それに則って一年間活動して頂きたいと思います。

　今年一年間皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。